

薩摩川内市の広聴広報に関するアンケート結果報告書

令和7年1月20日（月）から2月21日（金）に実施した薩摩川内市の広聴広報に関するアンケートの結果について報告します。

実施部署：未来政策部秘書広報課

調査目的：今後、さらに広聴広報活動を充実させていくため

調査対象：薩摩川内市内に住所を有する方

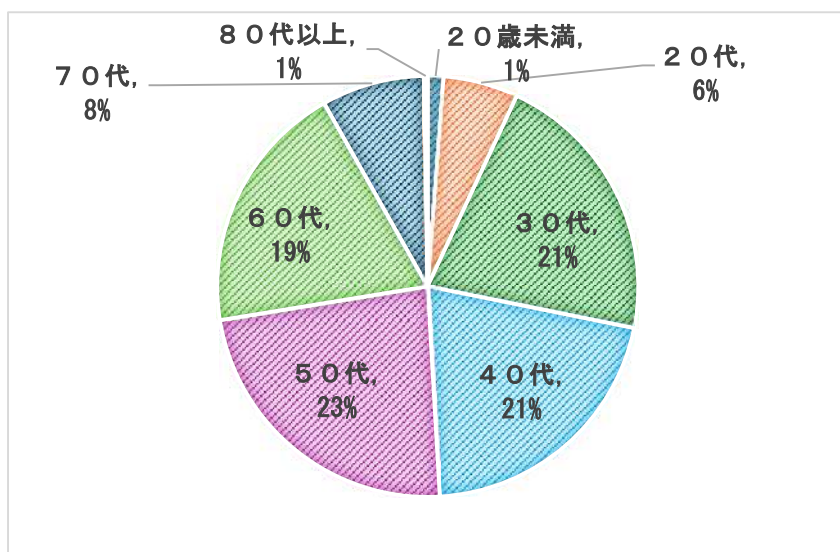
調査期間：令和7年1月20日（月）～2月21日（金）

調査方法：インターネット調査（eまちアンケート）

調査結果の回答状況：回答数330件

【1】あなたの年齢を教えてください。

項目	人数	割合
20歳未満	4	1%
20代	19	6%
30代	70	21%
40代	69	21%
50代	77	23%
60代	64	19%
70代	26	8%
80代以上	1	1%



【２】市では、市民が求めるサービスを適正に提供するため、広く市民の意見を聴取し市民ニーズを的確に把握する、広聴業務を行っています。あなたが利用したことのある市政に関して意見や提言・要望などの方法を教えてください。（複数回答可）

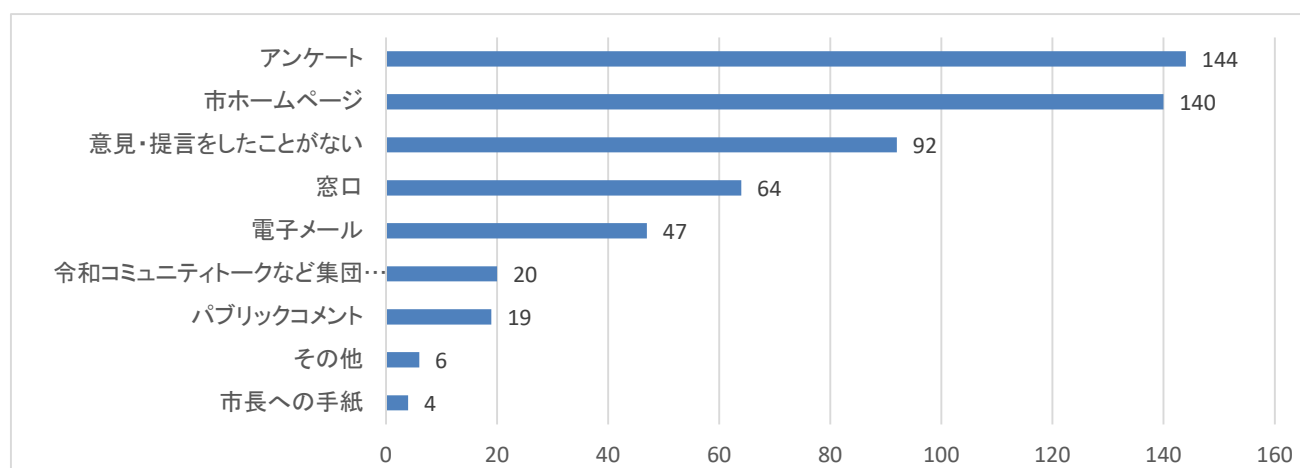
全体

項目	人数	割合
アンケート	144	44%
市ホームページ	140	42%
意見・提言をしたことがない	92	28%
窓口	64	19%
電子メール	47	14%
令和コミュニティトークなど集団で行う市長との対話の場	20	6%
パブリックコメント	19	6%
その他	6	2%
市長への手紙	4	1%

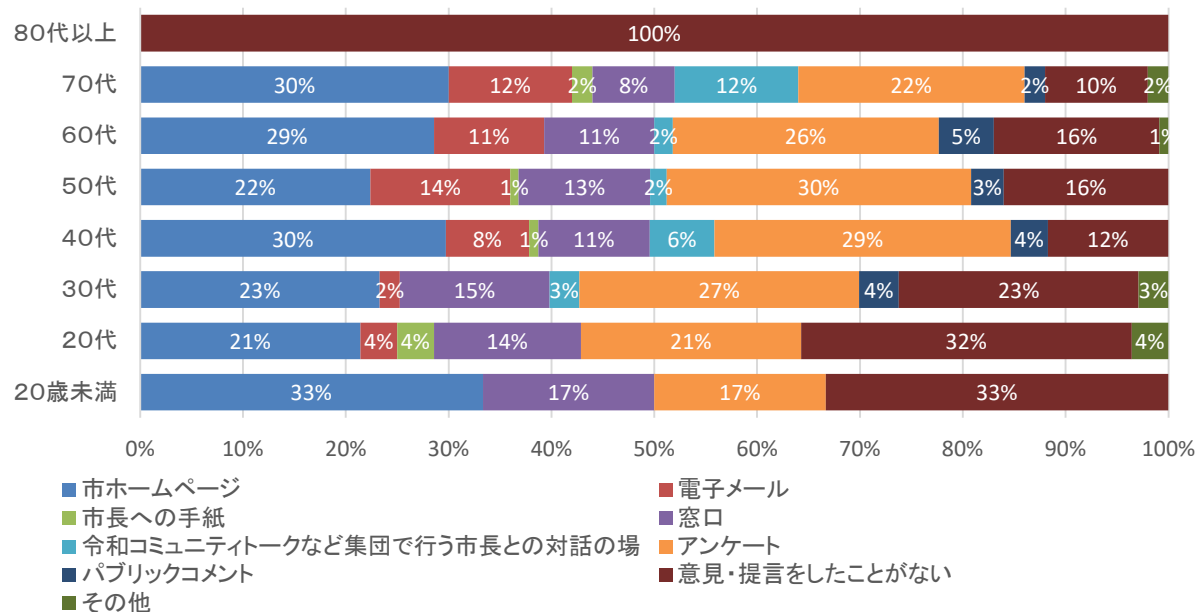
※割合は（％）は回答者330人に対する割合

【その他の回答内容】

- ・市役所に勤めている知り合いにお願いする。
- ・LINE
- ・市議会議員とのコミュニケーション
- ・市主催のネットワーク会議等



年代別



- ・全体でみると、「アンケート」および「市ホームページ」から市政に関する意見や提言・要望を行ったことがあると回答した方が最も多い結果であった。
- ・一方で、「意見・提言をしたことがない」と回答された方が28%おり、3割近くの方が意見や提言・要望を行ったことがないという結果であった。
- ・利用者が多い「アンケート」や「市ホームページ」を効果的に活用しながら、「電子メール」や「市長への手紙」など、他の手段もあることの周知を行い、市民の方々が市政に対する意見や提言・要望を発言しやすい環境づくりに努めていきたい。

【３】市政に関して意見や提言・要望などをするため、どのような機会があれば利用したいですか。（複数回答可）

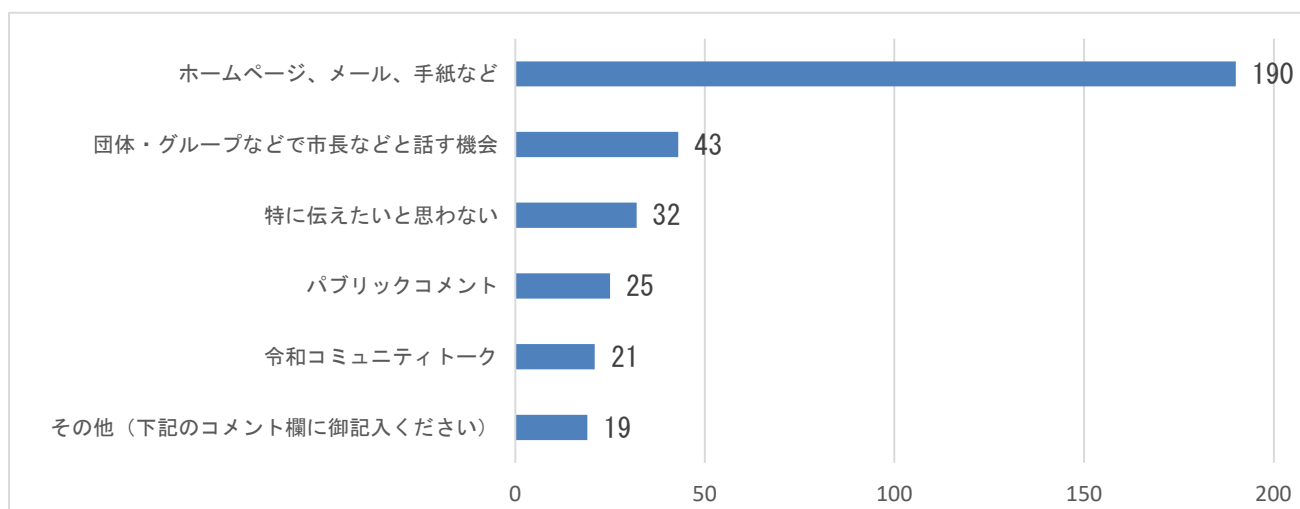
全体

項目	人数	割合
ホームページ、メール、手紙など	190	58%
団体・グループなどで市長などと話す機会	43	13%
特に伝えたいと思わない	32	10%
パブリックコメント	25	8%
令和コミュニティトーク	21	6%
その他	19	6%

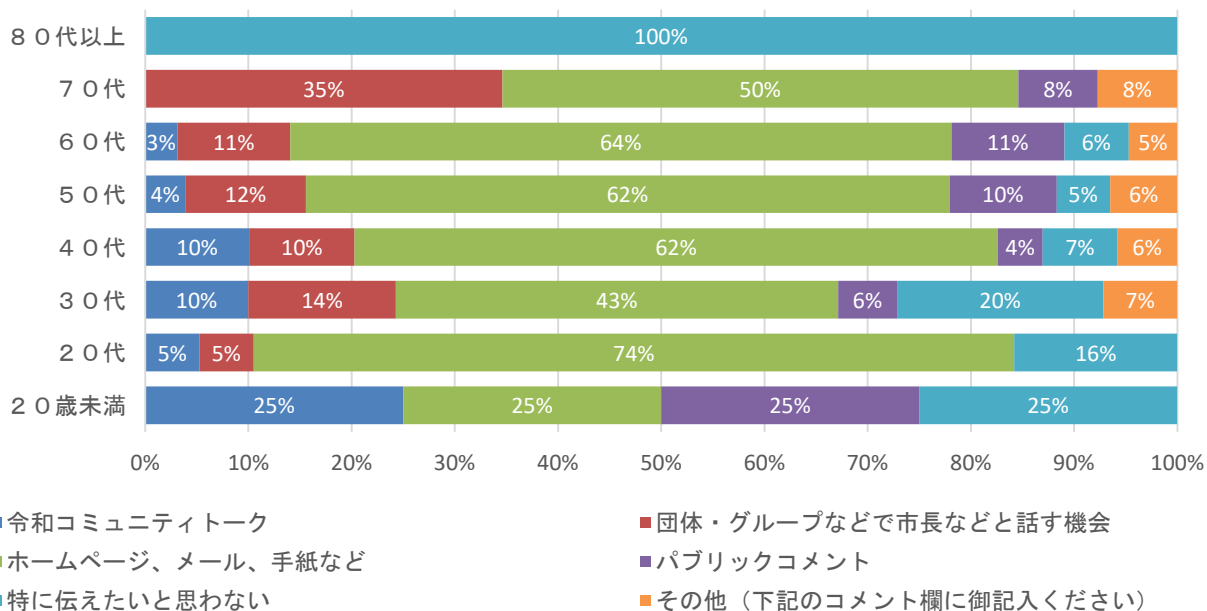
※割合は（％）は回答者330人に対する割合

【その他の回答内容】

- ・ 市政への要望課とか直接言えるような課があればいいかなと思う。
- ・ LINE で簡単に意見とか言えるようにしてほしい。（写真も送れるように）
- ・ このようなアンケート形式。街頭アンケート。
- ・ 必ずフォローバックする事が望ましい。
- ・ 窓口への提案書の持込。
- ・ 街頭演説。
- ・ 市政への意見や提言は、（仮称）電子目安箱を開設し随時意見を書き込めるようにして欲しい。
- ・ 身近な市議会議員に話したい。
- ・ 自治会長を通じて。
- ・ 役職などのない、一般市民との話す機会。
- ・ ネット。



年代別



- ・全体でみると、「ホームページ、メール、手紙など」と回答された方が58%で最も多い結果であった。
- ・年代別では、20代以降は「団体・グループなどで市長などと話す機会」を選択される方が一定数いる結果であった。
- ・「その他」で御意見をいただいている内容でいくつかのことは既に実施されており、市民の方々への周知が不足していることが判明したため、周知に努めていきたい。

【参考：「その他」で御意見をいただいている中で既に実施しているもの】

・市政への要望を取りまとめている課

→秘書広報課で受付しています。御要望などがありましたら窓口、HPの問い合わせフォーム、メール、市長への手紙（御意見箱）などでお問い合わせください。

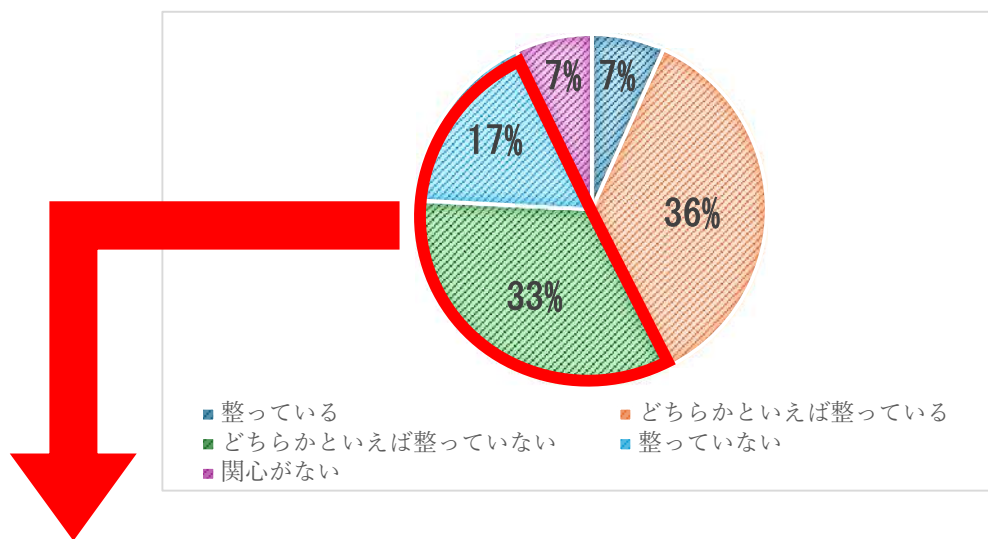
・LINEでの要望

→市公式LINEの「市民通報レポート」で、道路・河川、公園、有害鳥獣、不法投棄、農地等、漏水に関する内容については写真や位置情報などとともに要望を受付けています。

【４】市に意見提言を伝える機会が整っていると感じていますか。

全体

項目	人数	割合
整っている	22	7%
どちらかといえば整っている	118	36%
どちらかといえば整っていない	108	33%
整っていない	56	17%
関心がない	26	7%



【５】【質問４】で「どちらかといえば整っていない」、「整っていない」を選択された理由を教えてください。

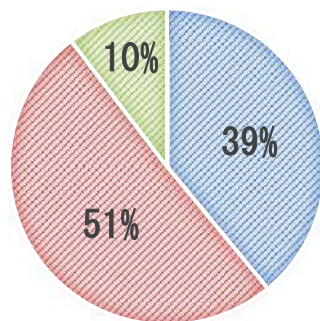
全体

項目	人数	割合
市に対する意見や提言・要望などをするための制度があることを知らなかったから	64	39%
どこに問い合わせをすれば良いか分からないから	83	51%
その他（下記のコメント欄に御記入ください）	17	10%

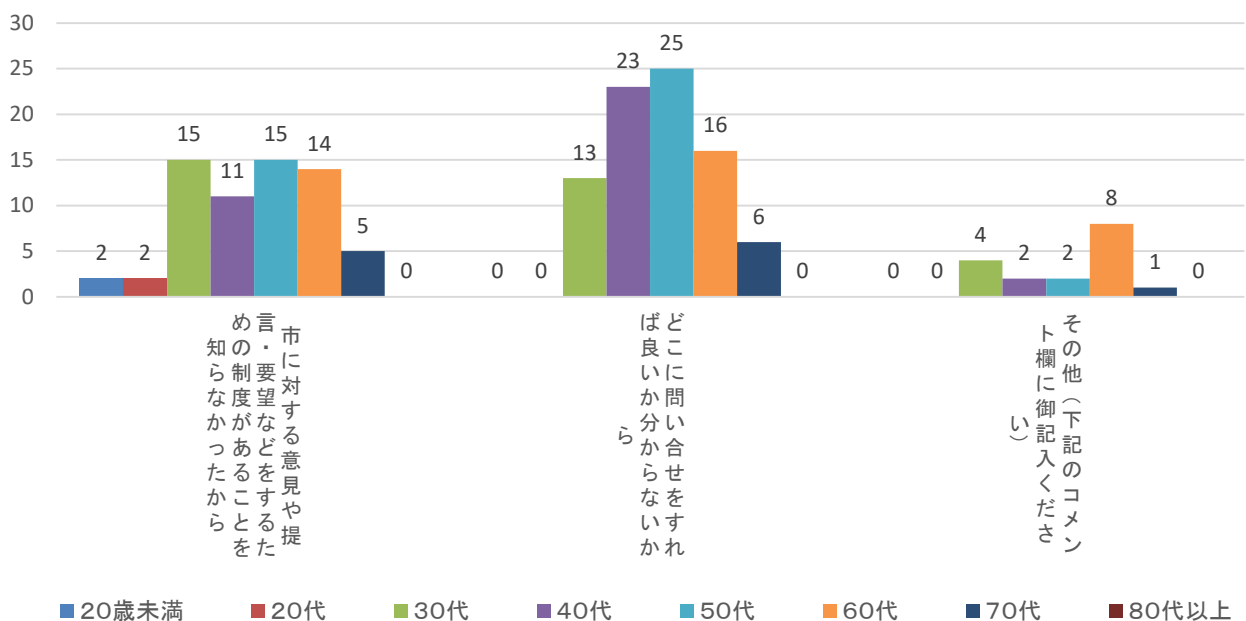
【その他の回答内容】

- ・意見を出しても改善されない。先に行政の意見（考え）ありきでボトムアップ的な市民の意見は尊重されない。
- ・機会がもっと多岐に渡れないものか。
- ・庁内で待っているだけの対応では話に出向く気にもならない。
- ・市長と話す機会はただの要望にしかならず、時間がないため具体的な制度設計案を伝える場にはならない。また、既存の国、県の制度を利用したり、市独自に対応すべき提案があったとしてもどこに提案すべきかわからない。
- ・問い合わせ、要望を伝えるまでのハードルが高く感じる。市の方からも歩みよってほしい。

- ・ 格式張った方法や市議会議員を通してといった手法は時代遅れだと思います。電子目
安箱の設置を検討して下さい。
- ・ 情報が限られた人にしか渡っていないから。
- ・ テンプレのような返答しか返ってこないため、聞く体制が整っていない。
- ・ 適切な回答が帰って来ない。
- ・ 問い合わせをしても、対応していません。と言われておしまいだったという知人がい
ました。全てに応える事は難しい事は重々承知していますが、後に繋げて考えていっ
てほしい。
- ・ 街に活気を感じられない。意見したところで…と思ってしまう。



- 市に対する意見や提言・要望などをするための制度があることを知らなかったから
- どこに問い合わせをすれば良いか分からないから
- その他 (下記のコメント欄に御記入ください)



- ・「市に意見提言を伝える機会が整っているか」の問いに対し、「整っている」および「どちらかといえば整っている」と回答された方の割合は合計４３％であった。
- ・一方で、「整っていない」および「どちらかといえば整っていない」と回答された方の割合は合計５０％であり、半数の方が整っていないと感じられている結果であった。
- ・「整っていない」および「どちらかといえば整っていない」と回答された方のうち、５１％の方が「どこに問い合わせれば良いか分からないから」を選択されていた。今後、市に対する意見提言を伝える制度があることを周知するとともに、その方法までを市民の方々に認知していただけるように努めていきたい。

【6】市では、さまざまな媒体を活用して市政情報を発信しています。本市の市政に関する情報を何から得ていますか。（複数回答可）

全体

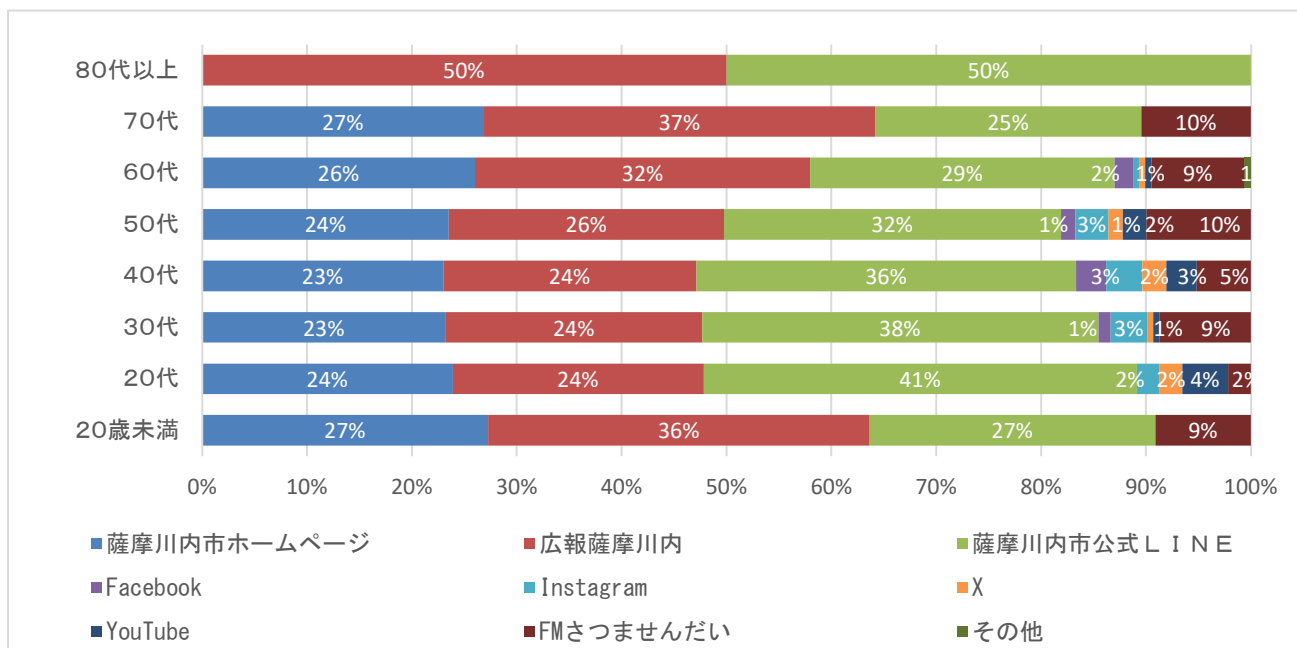
項目	人数	割合
薩摩川内市公式 LINE	288	87%
広報薩摩川内	237	72%
薩摩川内市ホームページ	208	63%
F M さつまさんだい	70	21%
Instagram	21	6%
YouTube	14	4%
Facebook	13	4%
X	10	3%
その他	1	0%

【その他の回答内容】

- ・ LINE や放送
- ・ 市の職員から直接

※割合は（％）は回答者330人に対する割合

年代別

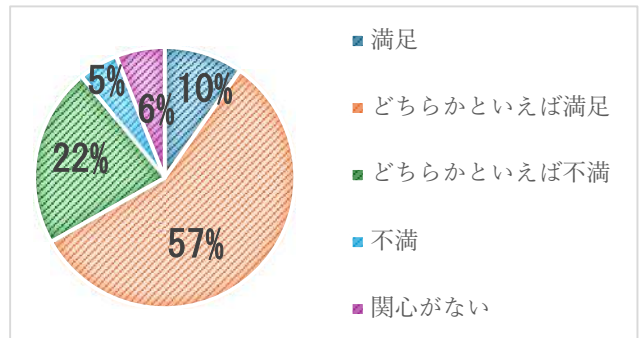


- ・ 全体でみると、主に「薩摩川内市公式 LINE」、「広報薩摩川内」、「薩摩川内市ホームページ」から市政に関する情報を収集している結果であった。
- ・ 年代別でみてもどの年代もあまり大きな差は見られなかった。

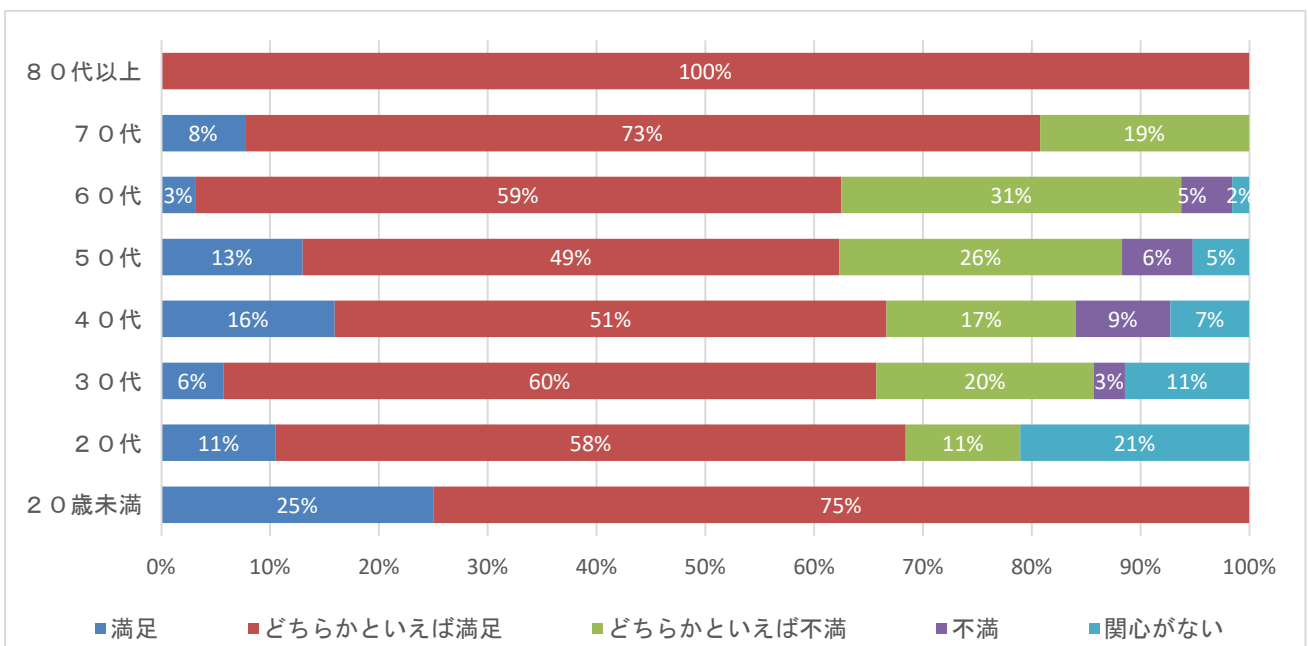
【7】本市の広報活動について満足していますか。

全体

項目	人数	割合
満足	32	10%
どちらかといえば満足	187	57%
どちらかといえば不満	73	22%
不満	16	5%
関心がない	22	6%



年代別

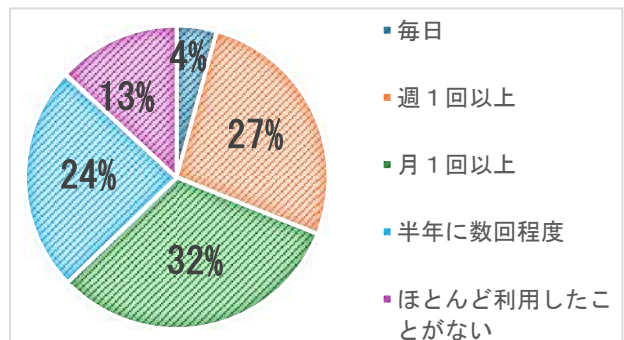


- ・「満足」および「どちらかといえば満足」と回答された方の割合は合計67%であり、半数以上の方が満足以上を選択されている結果であった。
- ・年代別でみると、年代が上がるにつれて「不満」と感じる方が増加していく傾向が見受けられた。また、年代が下がるにつれて「関心がない」を選択される方が増加していく傾向があることも判明した。
- ・今後とも市民の方々に満足していただける広報活動を行うこととともに、若い世代に対してより関心を持っていただけるような広報活動を行っていきたい。

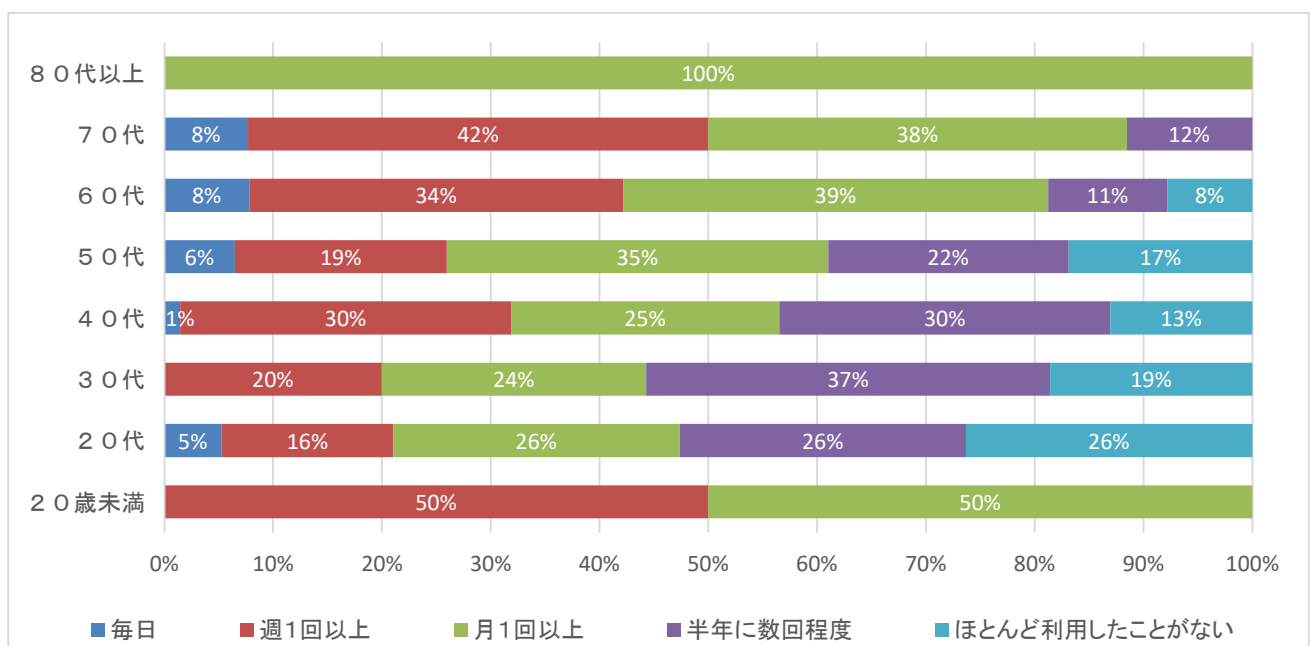
【 8 】市ホームページをどのくらいの頻度で利用されていますか。

全体

項目	人数	割合
毎日	14	4 %
週 1 回 以上	88	27 %
月 1 回 以上	104	32 %
半年に数回程度	79	24 %
ほとんど利用したことがない	45	13 %



年代別

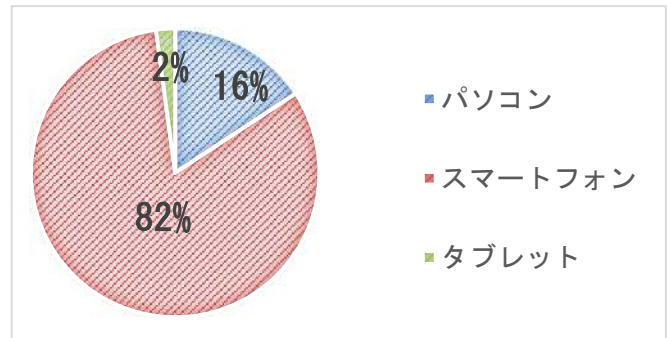


- ・市ホームページの利用頻度として、「月 1 回 以上」を選択された方が 32 % で最も高い結果であった。
- ・年代別でみると、年代が上がるにつれて市ホームページの利用頻度が増加傾向にあり、逆に年代が下がると利用頻度が減少傾向にあることが分かった。

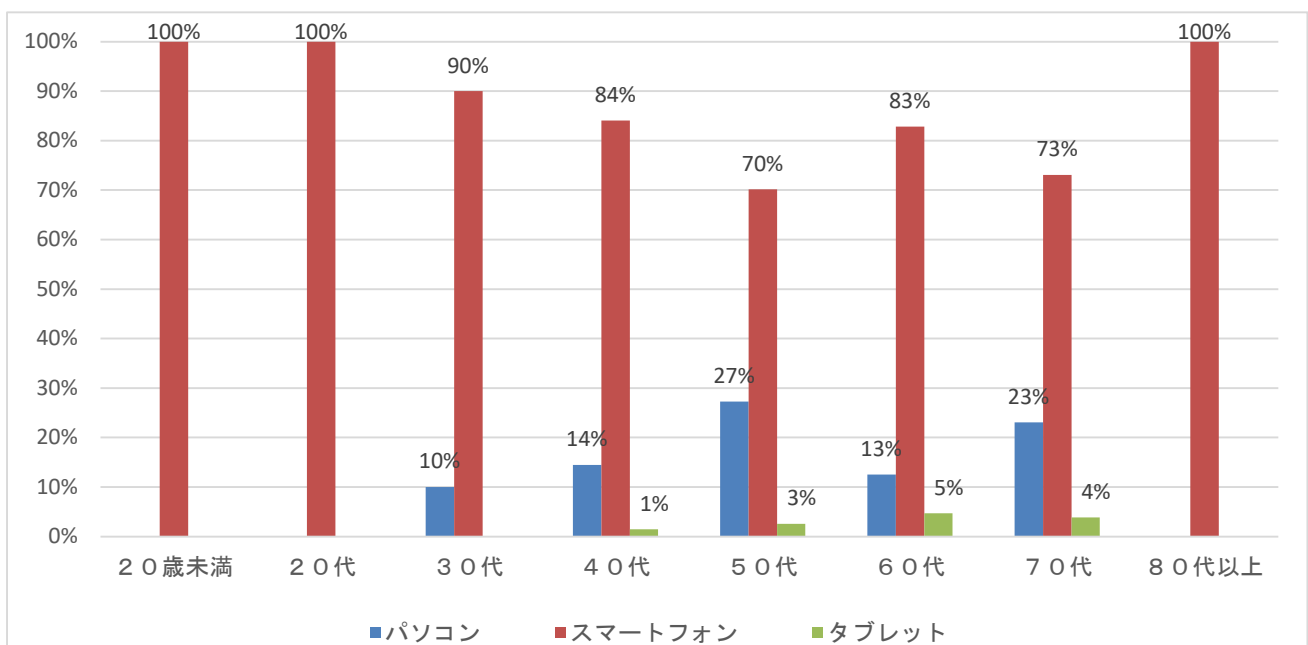
【 9 】 市ホームページを閲覧する際、主にどの機器を利用していますか。

全体

項目	人数	割合
パソコン	52	16%
スマートフォン	271	82%
タブレット	7	2%



年代別

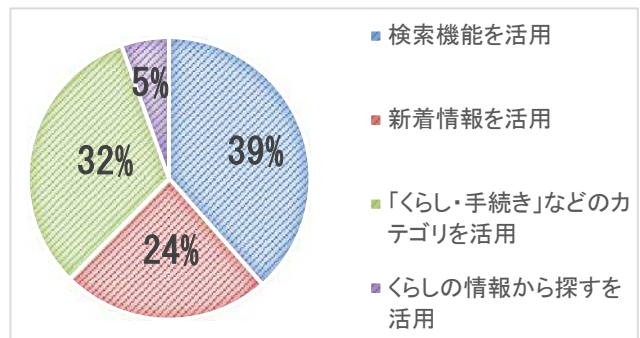


- ・市ホームページの閲覧方法として、「スマートフォン」を選択された方が82%で最も高く、ほとんどの方がスマートフォンを利用している結果であった。
- ・年代別でみると、30代～70代の年代で「パソコン」を利用される方が一定数いることが分かった。

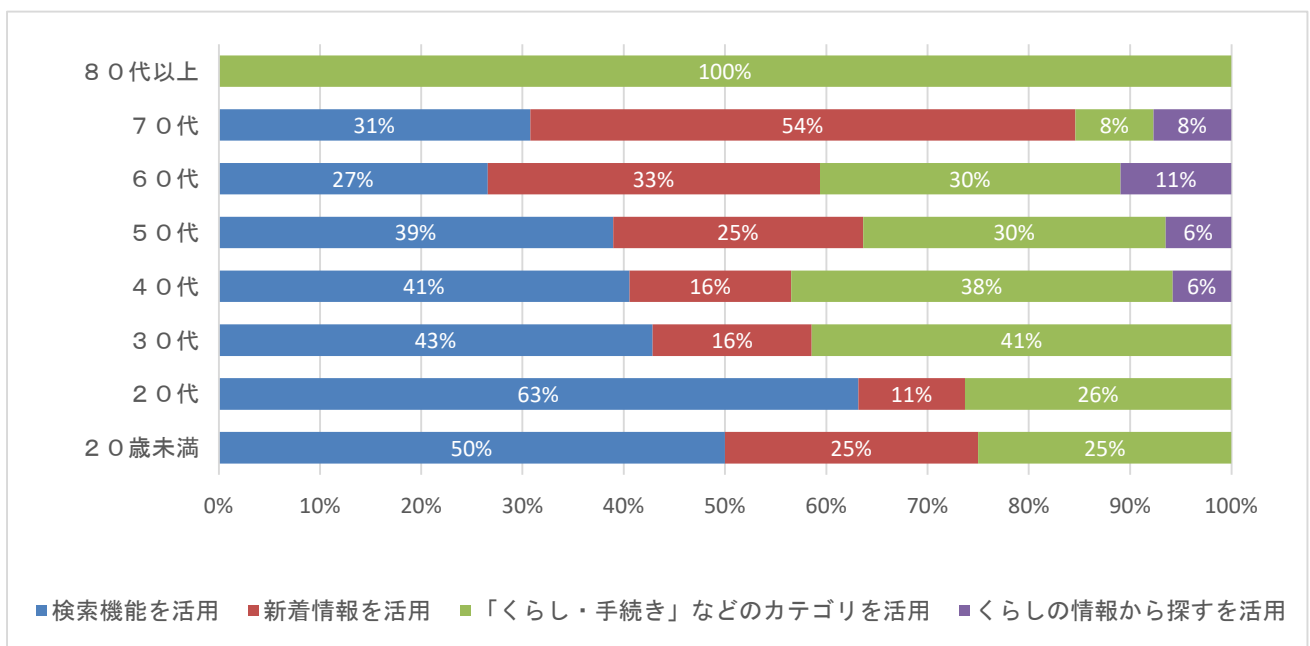
【10】 ホームページで情報を探す際、どの機能を活用しますか。

全体

項目	人数	割合
検索機能を活用	1 2 7	3 9 %
新着情報を活用	7 9	2 4 %
「くらし・手続き」などのカテゴリーを活用	1 0 6	3 2 %
くらしの情報から探すを活用	1 8	5 %



年代別

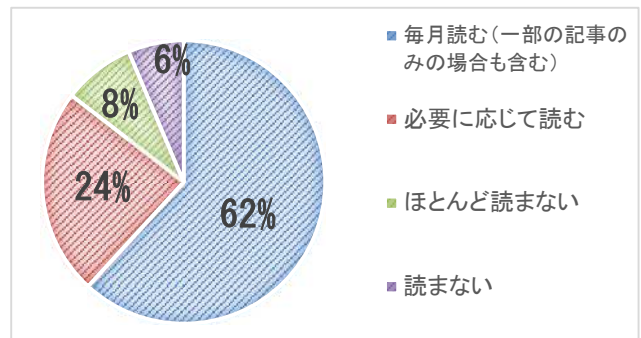


- ・ 全体でみると、「検索機能を活用」を選択された方が39%で最も高い結果であった。
- ・ 年代別でみると、年代が上がるにつれて「新着情報を活用」を選択される方が増加する傾向にあることが分かった。

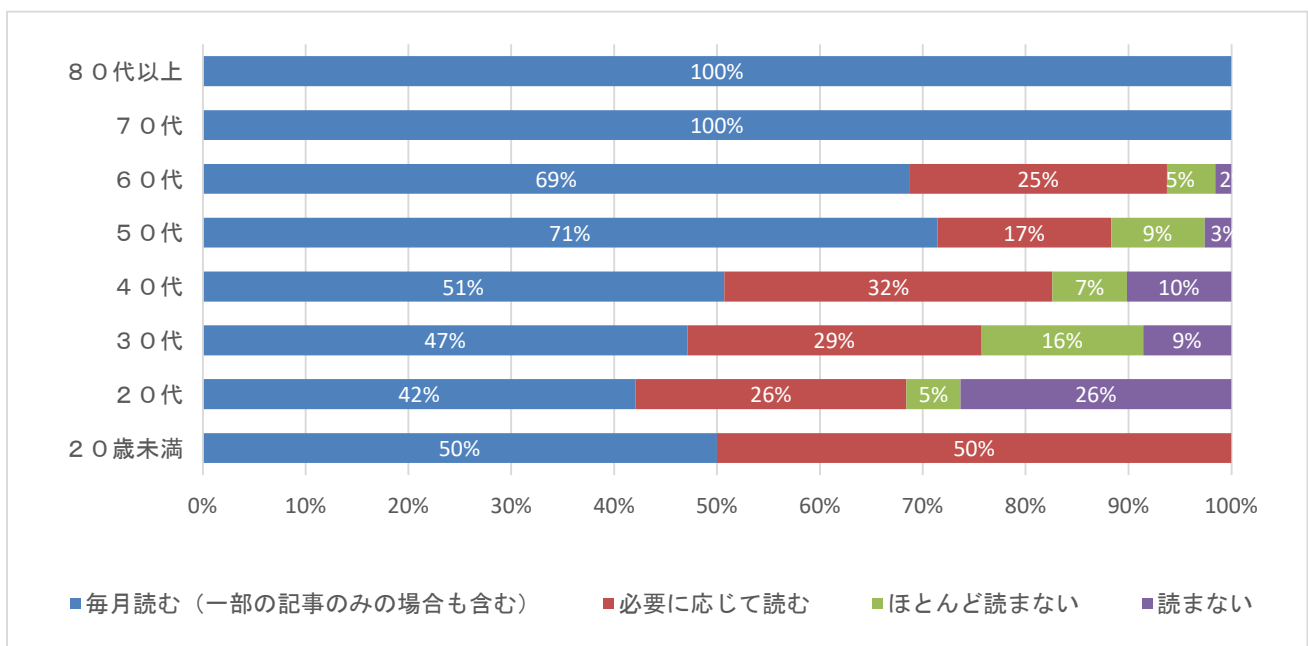
【11】 広報薩摩川内を読んでいますか。

全体

項目	人数	割合
毎月読む (一部の記事のみの場合も含む)	204	62%
必要に応じて読む	78	24%
ほとんど読まない	27	8%
読まない	21	6%



年代別

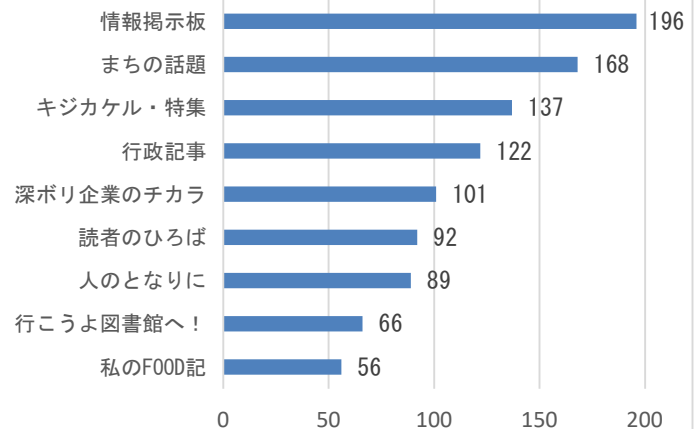


- ・全体でみると、「毎月読む (一部の記事のみの場合も含む)」を選択された方62%と「必要に応じて読む」を選択された方24%を合わせると86%の方が広報紙を読んでいる結果であった。
- ・年代別でみると、年代が上がるにつれて広報紙を読む方が増加するという結果であった。

【11】広報薩摩川内でよく読む記事は何ですか。（複数回答可）

全体

項目	人数	割合
情報掲示板	196	59%
まちの話題	168	51%
キジカケル・特集	137	42%
行政記事	122	37%
深ボリ企業のチカラ	101	31%
読者のひろば	92	28%
人のとなりに	89	27%
行こうよ図書館へ！	66	20%
私のFOOD記	56	17%

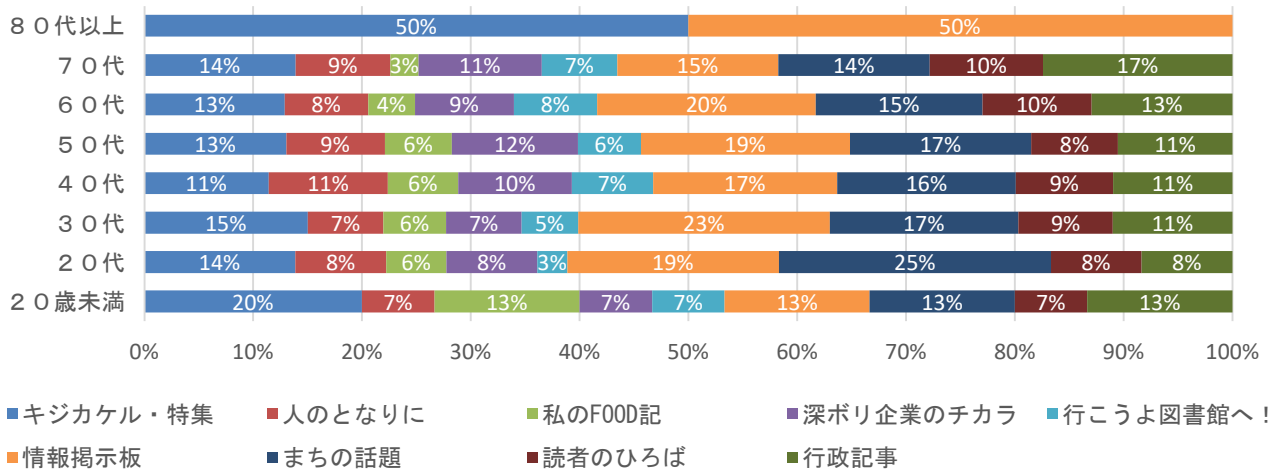


※割合は（％）は回答者330人に対する割合

【記憶に残っている記事】

- ・市議会の情報 ・川内川あらし ・SDGs すごろく ・火災の心理 ・イベント関係
- ・甕島大橋完成記念行事等イベント ・行政書士など相談案内
- ・向田方面の再開発 ・第60回キジカケル突撃レポート ・詐欺にご注意ください編
- ・市長の薩摩川内市の今後について語った記事 ・祁答院4校の閉校記事
- ・まちの話題（里親や子供に関係がある仕事をしているので、気を付けてみています。）
- ・令和5年11月天辰寺山古墳を公開され1500年前の古墳と石室が残っていることにびっくり、色々説明受け、貴重な体験をしました。
- ・物故によく知っている人が載っていた時。市に貢献された方が亡くなった時は特集記事を載せてほしい。新聞には著名人が亡くなられた時は記事が載ります。

年代別

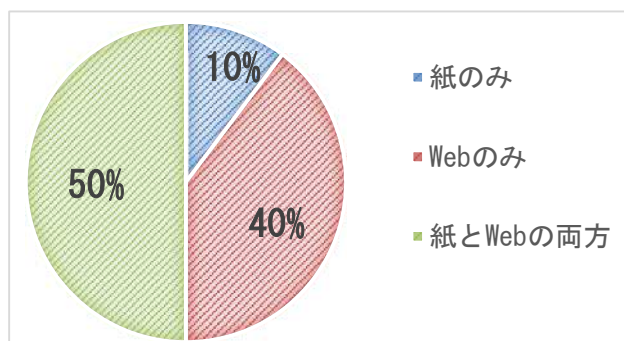


- ・「情報掲示板」と回答された方が59%で最も多く、次いで「まちの話題」と回答された方が51%であり、半数以上の方に読まれていることが分かった。

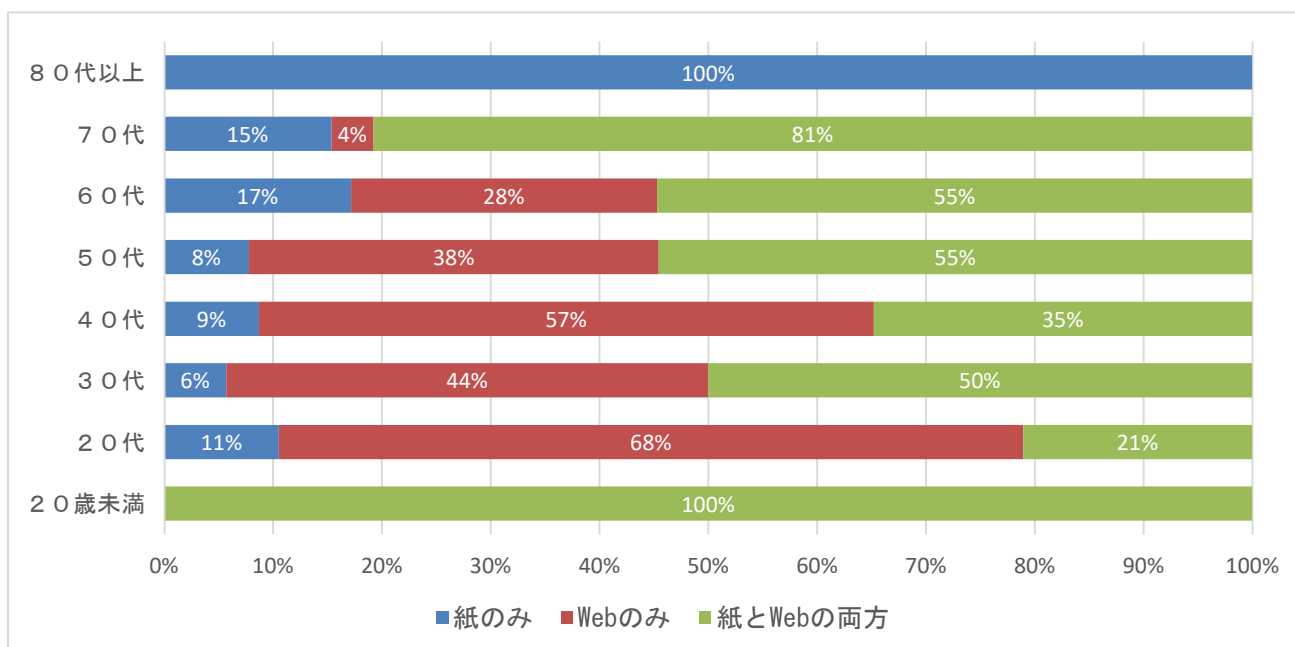
【13】広報薩摩川内のデジタル版を導入した場合、導入後にどのような方法で閲覧したいですか。

全体

項目	人数	割合
紙のみ	34	10%
Webのみ	131	40%
紙とWebの両方	165	50%



年代別

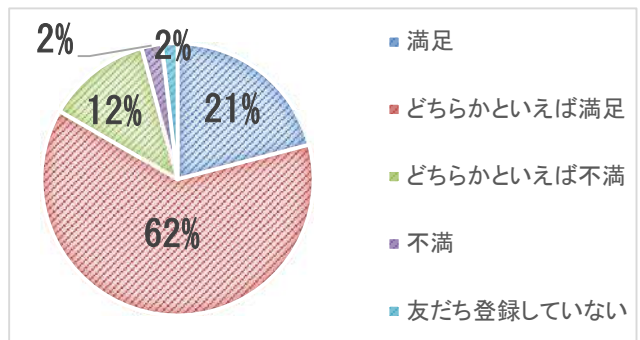


- ・全体で見ると、「紙とWebの両方」を選択された方が50%で最も高い割合であった。一方、「紙のみ」を選択された方は10%であり、多くの方がWeb上での閲覧に対して抵抗がないことが分かった。
- ・年代別で見ると、年代が下がるにつれて「Webのみ」を選択される傾向が高くなっていくが、どの年代でも大半はWeb上での閲覧に対して抵抗がないという結果であった。

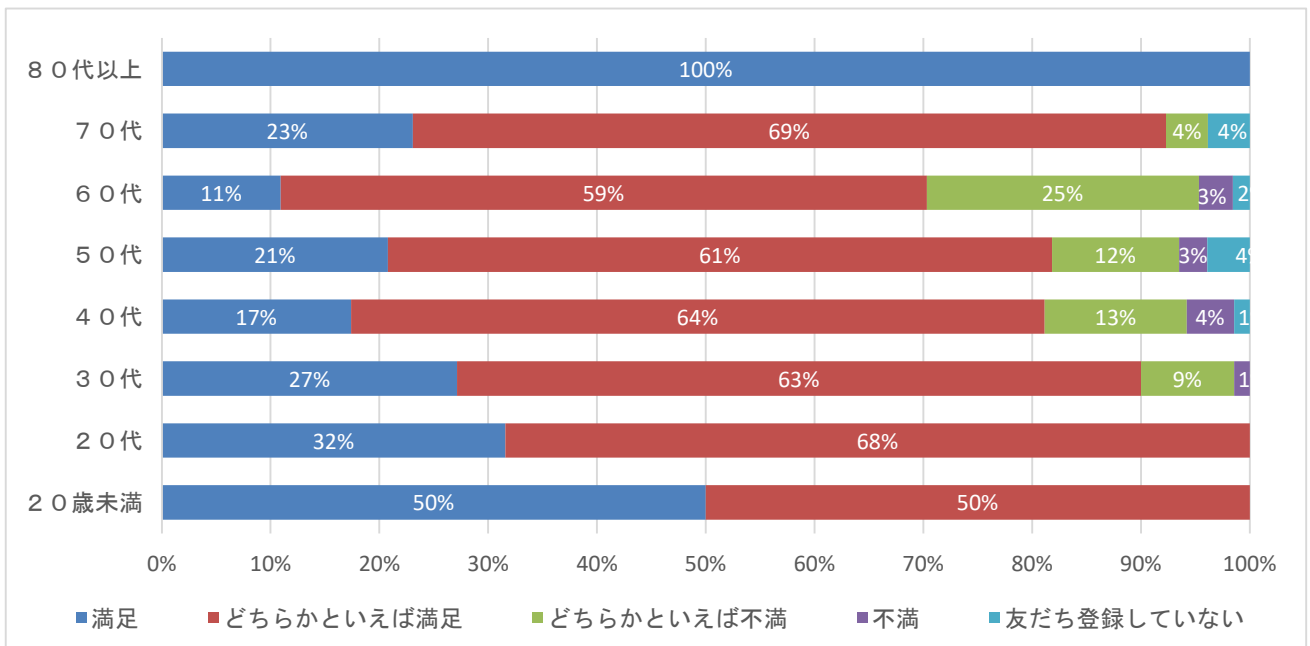
【14】市公式LINEの発信に満足していますか。

全体

項目	人数	割合
満足	69	21%
どちらかといえば満足	206	62%
どちらかといえば不満	41	12%
不満	8	2%
友だち登録していない	6	2%



年代別

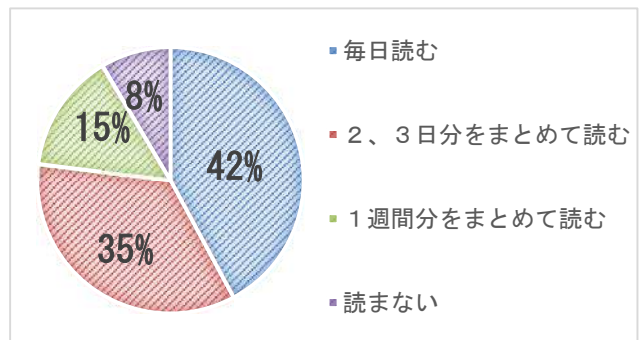


- ・「満足」および「どちらかといえば満足」と回答された方の割合は合計67%であり、半数以上の方が満足以上を選択されている結果であった。
- ・年代別でみると、年代が上がるにつれて「どちらかといえば不満」および「不満」を選択される傾向が高くなった。

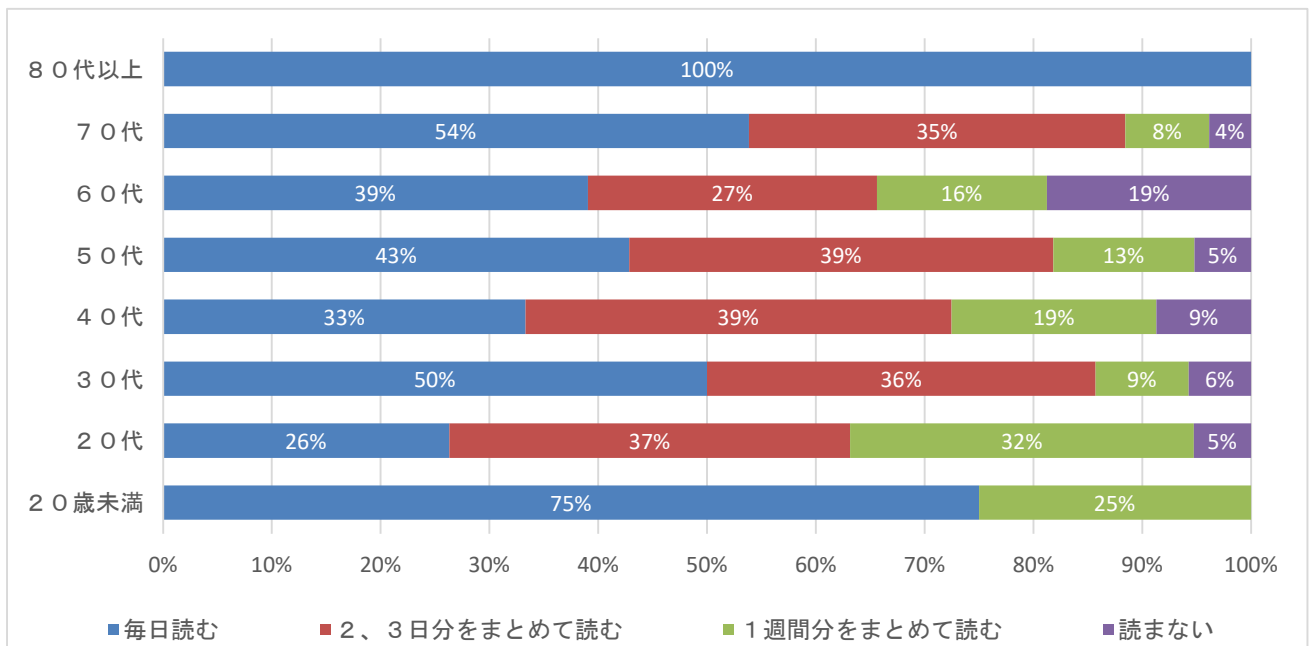
【15】市公式 LINE の閲覧頻度を教えてください。

全体

項目	人数	割合
毎日読む	1 3 9	4 2 %
2、3 日分をまとめて読む	1 1 5	3 5 %
1 週間分をまとめて読む	4 8	1 5 %
読まない	2 8	8 %



年代別

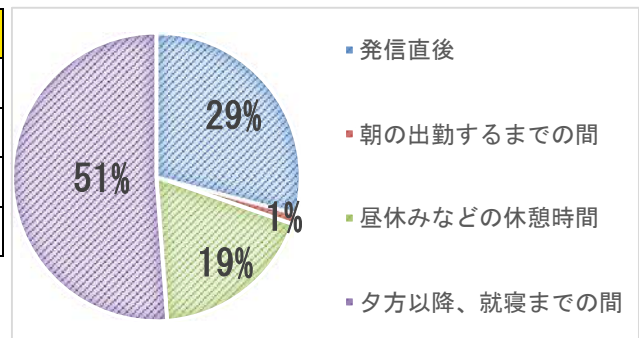


- ・市公式 LINE の閲覧頻度は、「毎日読む」と回答された方が最多で 42%であった。一方で、1 割弱の方が「読まない」を選択されていた。

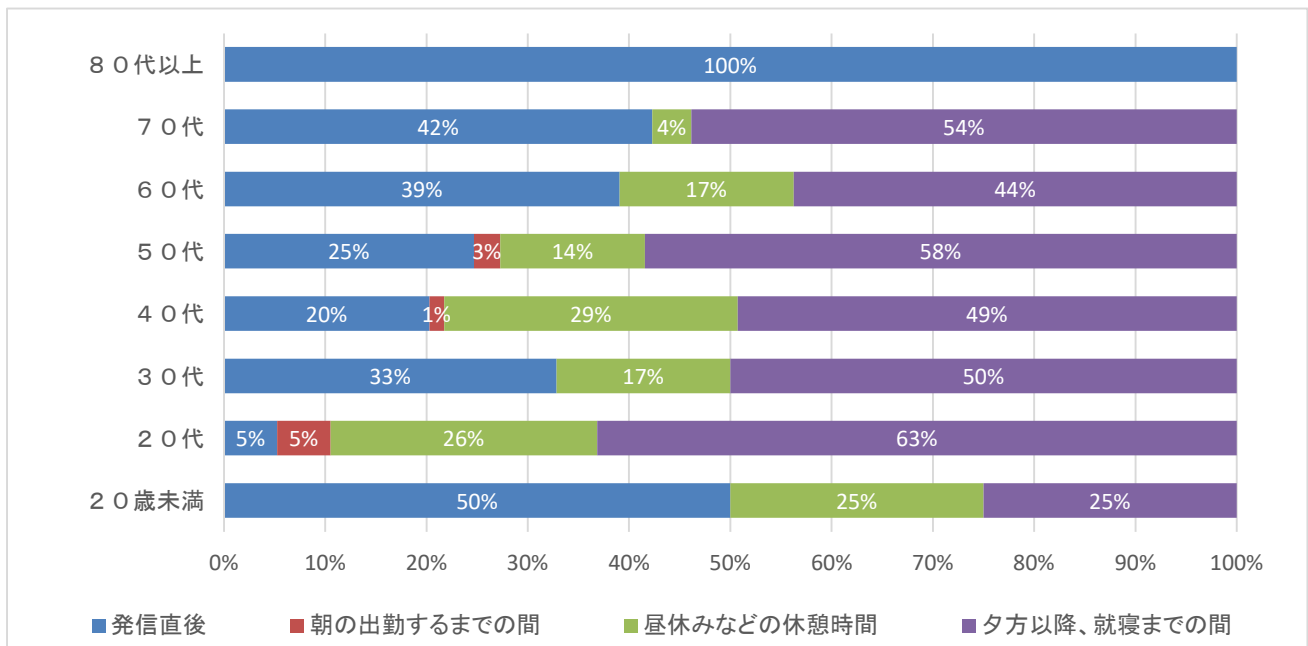
【16】市公式 LINE の閲覧するタイミングとして、最も多い時間帯はいつですか。

全体

項目	人数	割合
発信直後	96	29%
朝の出勤するまでの間	4	1%
昼休みなどの休憩時間	61	19%
夕方以降、就寝までの間	169	51%



年代別

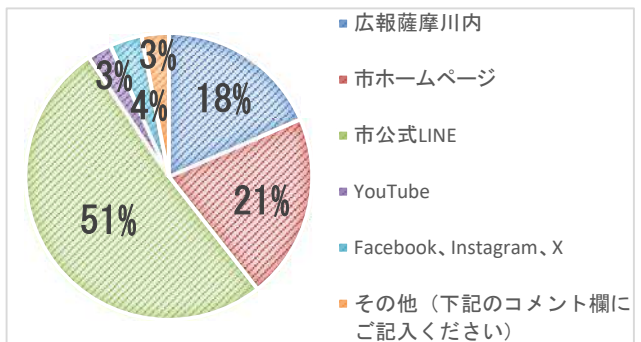


- ・市公式 LINE の閲覧するタイミングとして、「夕方以降、就寝までの間」と回答された方が最多で 51% であった。次いで、「発信直後」が 29% であった。
- ・年代別でも、大半の年代で夕方以降、就寝までの間に市公式 LINE を閲覧する方が半数を占めていた。また、30代～70代は「発信直後」を選択された方が多い傾向であった。

【17】 今後充実させてほしい広報媒体はどれですか。

全体

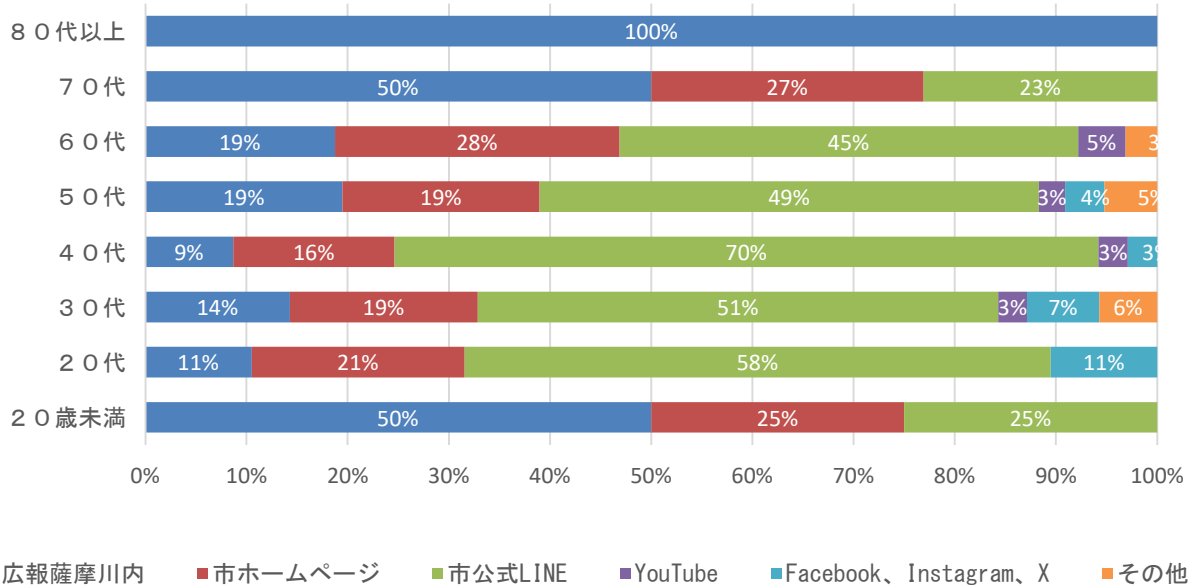
項目	人数	割合
広報薩摩川内	61	18%
市ホームページ	69	21%
市公式LINE	169	51%
YouTube	9	3%
Facebook、Instagram、X	12	4%
その他	10	3%



【その他の回答内容】

- ・ 何年も同じ構成です。気を惹きつけるようなイメージ転換を図ってもいいのではないかと思います。
- ・ 広報誌には写真などをもっと掲載して欲しい。イベント欄は文字ばかりで味気ない。
- ・ Web 媒体では伝えられない層を考慮、また、共働き世代はなかなか時間が取れない。
- ・ 仕事柄高齢介護福祉課の市 HP を拝見することが多いのですが、分かりやすさに欠けるかなと思うことが多い。また以前 HP が刷新された後検索結果に前のページ URL が上がり表示されない事も多い。

年代別

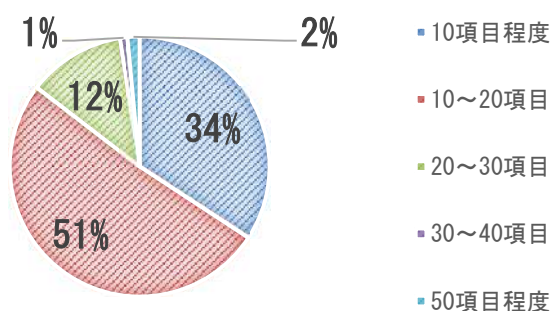


- ・ 今後充実させてほしい広報媒体は、「市公式LINE」が最多の51%であった。次いで、「市ホームページ」が21%、「広報薩摩川内」が18%であった。
- ・ 年代別でみると、20代～60代に「YouTube」、「Facebook、Instagram、X」を選択された方が一定数いるという結果であった。

【18】アンケートを実施する際に、適切だと思う設問数として最も当てはまるものを選択ください。

全体

項目	人数	割合
10項目程度	113	34%
10～20項目	169	51%
20～30項目	40	12%
30～40項目	3	1%
50項目程度	5	2%



・アンケートの設問数として「10～20項目」が最多の51%であった。また、「20～30項目」は12%であり、えまちアンケートの設問数がおおよそ10～30項目であることから概ね適正な設問数であると考え。今後のアンケートを実施していく上での参考とし、設問数を削減できるように設問内容の選定もしっかり行っていきたい。

「薩摩川内市の広聴広報に関するアンケート」では、たくさんの回答・御意見をいただきました。いただいた御意見の中で、同様の内容はまとめて記載させていただいておりますのでご了承ください。

回答いただいた内容につきましては、貴重な御意見として、今後の広聴・広報業務における参考とさせていただきます。

ご協力、誠にありがとうございました。